



幽蝶ノ舞、相聞ノ結界ヨリ

準備号

chicktack clock

こんにちは。chicktack clockのNCです。

例大祭2に続き、2冊目の本です。準備号なんで1.5冊目？でしょうか。

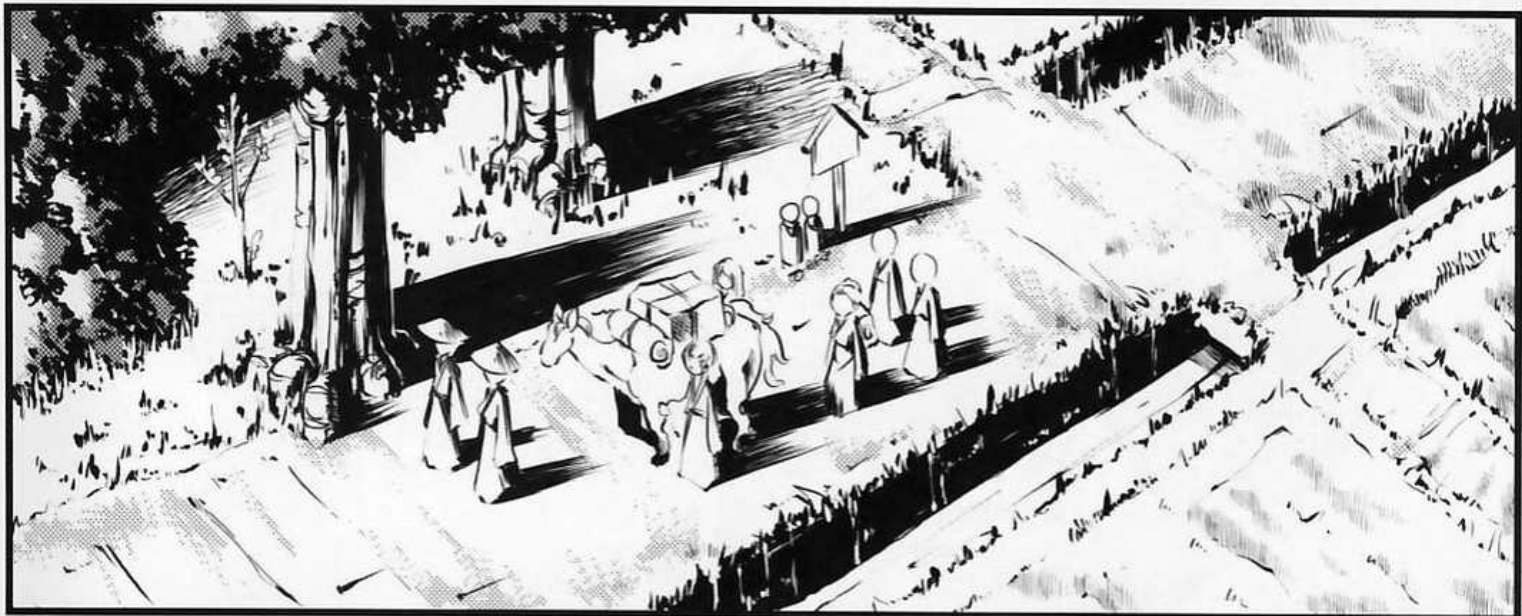
今回は紫と幽々子の漫画ですが、非常に創作よりとなっています。
描写に関して言いますと、幻想郷世界にあまり忠実でない上に
キャラクターも随分シリアス気味です。

妖々夢のおまけテキストとキャラ設からいろいろ妄想した
ストーリーなので、わけわからん風味なところもあるかもしれません…。

予告編っぽく作ったのでサラッと読んでいただけるかと。



未だに忘れられない





その少女は

幼い姿とはかけ離れた
気品のある雰囲気
が印象的だった。

肌も、美しいと言う
よりは血の通っていない
ような白さ。



そして、



死霊の群れ





西行寺幽々子と初めて
出会った日



私は紫と会えて
とても幸せ

…ねえ、
紫

紫と会って
こうやってお喋りするの
大好き



不思議だわ

紫といると…

なんだか優しい
気持ちになれるの…



私もよ

…

胸が熱くなるのだ。



嫌な事とか
全部忘れられそう...



私自身、この少女の
不思議な魅力の
虜だったらしい。

常に付きまとう死の香りに
誘われてしまったのか。
それとも妖怪である私が
人間におかしな情でも
移ってしまったのか。

よくわからない。



可笑的でしょう...

ねえ...?



私が…

死んでしまえば

やめて！



…私…



紫…



そんなこと
言わないで…

あなたは何も
悪くないのよ



死を誘う呪いという、
あまりに重い運命に
彼女自身が侵食されてゆく。

そのさまは、悲痛としか
言いようが無かった。



勝手に死んでゆくのかな？

どうして…

こんな力望んでいないのに…



私が

あなたの幸せを

誰よりも願うわ

——約束するわ



あなたが心から幸せになれることを

約束するわ



だから…

自分を責めないで…

いつの日かかならず



...

はははっ



そう思わないかしら？



綺麗ね...

素敵だわ...





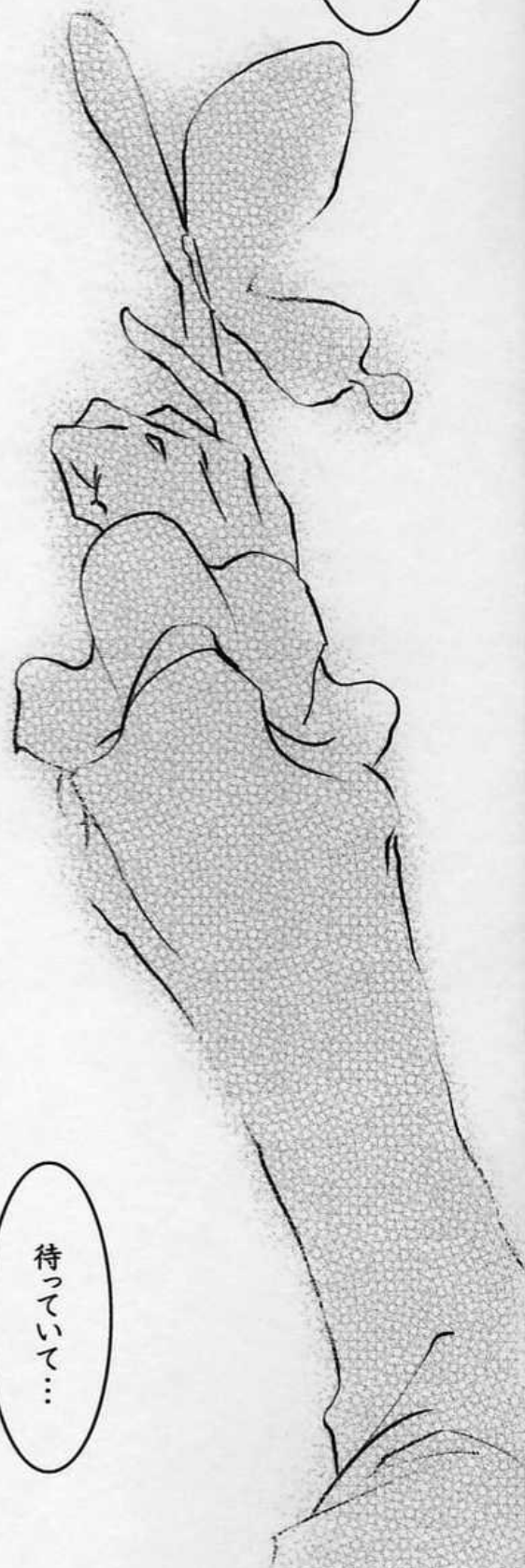
人間の魂を奪ってくるんだよ！

青い蝶…

フフ…
あなたも？

たのしいうね
今のあなたを見て私は
うれしいけどかなしいわ

私も同じ気持ちよ



待っていて…

このあたりのストーリーは既にSSやら漫画やらで他の作家さん方がやってしまったと思うのですが、自分も上手く描けたらなあど、一つの挑戦みたいなものですか。というよりも、この話を描きたくて東方二次創作始めたようなものなので、描かずにはられない、つーか描かせろ。

発行は未定ですが、次の例大祭までには上巻？が出せたらなあという感じです。ゆっくりねちねち描かせてください。ごめんなさい。

それでは機会がありましたらまたお会いしましょう。

追記：ぶっちゃけ描いてて一番楽しかったのが妖忌。

幽蝶ノ舞、
相聞ノ結界ヨリ
準備号



2005年
9月11日
東方紅楼夢